

日税メールステーション 特別号

海外基本情報

第40回 マカオ編(1)

メールマガジンをお読みの皆様こんにちは、株式会社コアブリッジの柳です。

今号は番外編として、香港のお隣のマカオについて、いつもより短い全二回でお届けします。

マカオというと「カジノ」のイメージが強いですが、ポルトガルの植民地時代からの世界遺産が数多く存在する、歴史のある都市でもあります。

香港と同様中国の一国二制度の対象地域であり、また、香港からフェリーでわずか一時間の場所にありながら、侵略や戦争との関わりはほとんどないという、特異性もあります。

■マカオ概要

マカオとは、正式には「中華人民共和国マカオ特別行政区」のことですが、ポルトガル語ではMacau、中国語では澳門(おうもん)と表記します。

中国広東省の南部にある、小さな半島(マカオ半島)と島(タイパ島、コロアネ島、埋立地のコタイ)からなる都市で、1999年にポルトガルから中国に返還されました。

マカオ半島は3つの大橋でタイパ島とつながっており、タイパ島とコロアネ島は間の造成地コタイを挟んでつながっています。

面積は2017年時点で30.8平方キロメートル、埋立てが盛んに行われて陸地が年々増えており、2015年から2017年の3年間に0.4平方キロメートル増地され(内訳は、タイパ島が0.3平方キロメートル、コタイが0.1平方キロメートル)、増加率は1.3%です。



マカオ半島とタイパ島をつなぐ西湾大橋。
左に見えるのがマカオのシンボル”マカオタワー”。

人口は、2018年の第三四半期時点で66万3千人、人口密度は東京や香港の実に三倍と、数

字上非常に過密です。

日本との時差は1時間（日本が進んでいる）、公用語は広東語とポルトガル語で、街の標識は中国語とポルトガル語で表記されています。英語はあまり通じませんので、タクシーに乗るときなどには、行き先を書いた紙やスマートフォン等を見せるとよいです。

通貨はマカオ・パタカ (MOP) で、執筆時点のレートは、1MOP=約 13.6 円です。マカオ内では香港ドルも使え(原則として硬貨はダメ)、1.03MOP=1 香港ドルの固定レートです。物価は、モノにもよりますが、日本より少し安いくらいです。

チップは、ホテルの枕銭や何かしてもらった時に 10MOP、レストランなどで 10%サービス料が加算されていけば不要です。

治安は安定していて、油断することなく当たり前の用心をしていれば心配はありません。

気候は亜熱帯に属し、高温多雨で、雨季の湿度は 90%以上になり、陽が出ていないのに非常に暑く感じます。一方、冬場(12~2月)は 10 度を下回ることもあり、上着が必要です。

電気、水道などのインフラはまったく心配ありません。インターネットや携帯電話も不自由なく使え、無線 LAN が街のあちこちで利用できます。

交通は、鉄道が存在しないため車主体ですが、タクシーは不足しており、そのかわり、路線バスが張り巡らされています。外国人にとってバスに乗るのは不安なものですが、マカオのバスのすごいところは、IT 化が進んでいることです。スマートフォンのアプリで、目的地から乗るべきバス路線を検索でき、バス停の写真が確認でき、さらにはどの車両が今どこを走ってどのバス停に向かっているかをリアルタイムで見ることができるようになっています。運賃は一律 6MOP(約 85 円)です。マカオパスというプリペイド式 IC カードを持っていると、乗車以外にも何かと使えて便利です。

※数字はマカオ政府統計調査局の Web サイト<https://www.dsec.gov.mo/home_enus.aspx>から引用



MP1284	T373-偉龍/科技大學	>
	T306/1-氹仔嘉樂庇馬路	>
	T314/2-亞利雅樂前地/果盤	>
	T408/6-濠畔大廈	>
	T343-海灣花園/海城閣	>
MP6026	M239/1-外港碼頭	>
	M254/1-友誼馬路/行車天橋	>
MP6361	M64-東沙環新街/南華	>
MP6421	M235-東北大馬路/保利達	>
MP6007	M247-海上房	>
MP6380	M1/18-葡京總站	>
MP6045		>

左：バスとバス停。

右：“巴士報站”というスマートフォンアプリケーション。どの車両がどこを走っているのかが一目瞭然。

■マカオの入出国

マカオに入るには「空路(マカオ国際空港)」「海路(外港フェリーターミナル、タイパ・フェリーターミナル)」「陸路(関門、蓮花大橋)」の3つの方法があります。

日本人は前者2つを利用することが多いでしょう。フェリーの場合、香港からちょうど1時間です。

入国も出国もパスポートを見せるだけで、入国/出国カードの提出や顔認証の撮影、押印など一切ありません。90日以内の滞在であればビザは不要です。

■入国後の3タスク

両替は、フェリーターミナル、国際空港共に、建物内の両替所でできます。“Which do you like?”と聞かれるので、香港ドルとマカオ・パタカのどちらに両替するのか指定します。

携帯電話のSIMカードは、空港/フェリーターミナルどちらも、自動販売機で購入できます(フェリーターミナルではサービスカウンターもあります)。1日間で50MOP、3日間で100MOP、7日間で200MOPのプランがありました。

市街地までは、タクシーかバス、あるいはホテルの無料シャトルバスがあります。マカオの大きなホテルにはカジノがあり、宿泊客でなくてもシャトルバスに乗れるので、近くのホテルのバスに乗ってしまうのもアリです。

タイパにある空港からマカオ半島の中心部までは、タクシーで20分くらい、100MOP程度です。



左：外港フェリーターミナル。
右：マカオ国際空港。こぢんまりとした空港です。

今号は以上で終了です。

ではまた次回お会いしましょう。

※本文中の数値やURL等は執筆時点のものです

